

尺八演奏家 大山貴善（おおやまきぜん）

琴古流尺八を松山龍盟師・大山素盟師に師事。現在、琴古流・根笹派錦風流・普化本曲・現代音楽を三橋貴風師に師事。大山貴善の名を許される。臨済宗大本山国泰寺妙音会に伝承されている古典本曲数曲を正式に伝承。NHK邦楽技能者育成会第55期修了。文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」平成31年度三曲新進演奏家研修支援事業研修生修了。第35回三曲奨励会出演。NHK邦楽オーディション合格。

2013年、出雲大社平成の大遷宮奉祝行事にて奉納演奏。2014年、2017年にドイツデュッセルドルフにて開催されている

JAPAN TAG、ケルン日本文化会館に招聘され公演。2015年、韓国に招聘されAsia Folk Music Festivalにて安山市立國楽団と共演。『笛子協奏曲（パク・ホンボン作曲）』の独奏を務める。同年、賀茂別雷神社第42回式年遷宮奉祝行事にて二度に渡り奉納演奏。飛鳥II南極・南米クルーズ・エンターテイメントショーメインステージに出演。2017年、フランス大使館にて演奏。2018年、FISノルディックコンバインドワールドカップ白馬大会にて演奏。『現代邦楽“考”』東京文化会館小ホール公演にて平成30年度文化庁芸術祭参加。2019年、エジプトカイロ・オペラハウス、在エジプト日本大使公邸にて演奏。イタリア・ミラノ、テレサ・ポモドロ記念NO'HMA劇場国際演劇賞に出演。アメリカ・ニューヨークTenri Cultural Instituteにて9/11Tribute Concertに出演。東京2020 NIPPONフェスティバル主催事業に出演。比叡山延暦寺、伏見稻荷大社、宮島大聖院を始め、全国各地の寺社仏閣での奉納演奏を多数実施。

各地方に伝わる尺八古典本曲の様式、様々な民族音楽を学ぶことで古典尺八音楽に対して多面的な視点を持ち、それを自らの音楽性へと反映。古典尺八を重視しながらも新たな尺八の表現を模索し続けている。

貴善組尺八教室、またカルチャーセンター等を通じて後進の育成にも尽力。

古典音楽のみならず、多彩な知識やアプローチから展開される様々なカテゴリーのパフォーマー、バンド、演奏団体とのコラボレーションなど活動の幅は広い。演奏のみならず邦楽器の為の作編曲やロックやポップスにおける邦楽器アレンジ、演奏パフォーマンス指導、コンセプト・アドバイザーも手がける。

学校公演、幼稚園公演、ワークショップ、レクチャーコンサートなども多数企画・実施。教育機関や地方自治体の委託を受けて実施する事も多い。イベント・ステージ・フェスティバルのプロデュース、コーディネート多数。メディア露出も多く、ラジオパーソナリティも務めた経験を持つ。

琴古流尺八貴善組尺八教室主宰。

琴古流尺八貴風会会員。公益社団法人日本三曲協会会員。琴古流協会会員。日本尺八演奏家ネットワーク会員。NHK 邦楽技能者育成会同窓会会員。演奏団体現代邦楽“考”団員。

